

Listen to the towns!

聞こえませんか、まちの音が。



「まちづくりって何？」って聞かれた時、あなたは何か答えられますか。何がまちをつくるのか、どうすればまちが育めるのか。あまりにも漠然とした問いに、きつと誰もが首を傾けてしまつてしまつてしまつた。わたしはこう考えます。それは「自分のまちに夢を持つこと」。そして「その夢を言葉にして語り合つて、人間のこころと力とを求め、価値は違いますが、そして求める夢も違いますが、しかし、それぞれが夢を自由に語り合つて、こころによって実現の方法や手段が見つかるのではないのでしょうか。その自由な思いがまちの表情を変え、やがて新しい顔をつくりだしてゆくのだ、私たちが信じます。

まち towns!

発行者 財団法人まちづくり市民財団 阿部芳三

〒102 東京都千代田区平河町2-14-3
日本青年会議所会館内
TEL 03-3234-2607
FAX 03-3265-2409

好きなまち それがいいまちです。

まちづくり市民財団って

何をやる財団?

あなたは自分の住んでいる「まち」をどう思いますか。関心がない、考えた事がない、そんな気持ちで日常を過ごしていても、時はいつとも変わらぬスピードで流れてゆきます。でもちよつと考えてみて下さい。なにげなく過ごす「まち」よりも、自分の思いや夢が少しでも反映した「まち」って魅力あると思いませんか。

まちを魅力的にしようとする時、皆さんはどう行動するでしょうか。一人で一生懸命走り回る人、また仲間と一緒に活動する人、その方法は様々です。しかし行動を起す時、色々な困難に出会う事があります。環境・人・そしてお金・・・。

(財)まちづくり市民財団は、そんな皆さんの思いや夢が少しでも早く、確実に実現するためのお手伝いをしています。この財団は、まちの皆さんが主体となつて行う「まちづくり」に対して研究や提案をし、また皆さんの活動がスムーズに実現するための助成を行っています。

もう少し財団の仕事を詳しくご説明しましょう。この財団は1、まちづくりのための調査や研究2、まちづくりのための情報や人材リストの収集3、まちづくり情報の提供4、まちづくりの研究者の交流活動5、まちづくりのための研究や事業への助成といった様々な事業を行っています。

皆さんにとって「いいまち」とはどんなまちですか。例えば、「このまちが好き」といえるまちが「いいまち」なのではないのでしょうか。「好きなまち」それがいいまちです。この気持ちで財団は活動しています。

これまでどんな活動を

してきたの?

(財)まちづくり市民財団は1991年10月3日、自治省より財団の設立許可がおりました。

翌1992年、いよいよ本格的な事業・助成金交付が開始されました。その一つ、助成金交付には10件の応募があり、その結果7つの事業に対して合計250万円の助成金の交付が行われました。その内容は様々です。

例えば「市原にプロサッカーを誘致する会」。この会はプロサッカーリーグ「Jリーグ」の開幕をきっかけに市原にプロサッカーチームを誘致しようというもので、市民のスポーツ文化を振付かせるための運動を展開してきました。当財団はその主旨に賛同し助成金を交付しました。

その結果「ジェフ・ユナイテッド市原」が誕生しました。また空港誘致地方拠点都市整備構想法を切口に、飛騨の地域づくりビジョンを考える飛騨地域広域シンポジウムといったように、財団の助成はソフトなものからハードなものまで対象にしています。

(財)まちづくり市民財団は開かれた財団を目指します。助成金の交付のみならず、財団の持っている知識・データ・そしてノウハウもどんどん利用して下さい。財団がこれから皆さんにお願いしたいことは、「二人でも多くの人の声を聞かせて欲しい」ということ。その声でこの財団は育つてゆくのです。

あなたのまちを自慢して下さい。

(これは電話アンケートによるものです)

- 北海道 札幌市 広々として、人情味にあふれている。(38才主婦)
- 青森県 むつ市 素朴であたたかい町です。(25才男性)
- 富山県 富山市 自然がたくさん残っている。子供が育つには良い環境。(52才男性)
- 群馬県 前橋市 新旧調和のとれた街づくりを目指している。(40才男性)
- 東京都 世田谷区 まわりの人が言うほど殺伐としてません。(22才女性)
- 静岡県 三島市 海そして山両方の魅力がある。(41才主婦)
- 愛知県 豊田市 車のまちとして有名。でもそれだけではないですよ。(29才男性)
- 京都市 左京区 学生が多く楽しいです。(18才男性)
- 京都府 園部町 田舎ですが国際的活動がさかんです。(34才男性)
- 大阪府 富田林市 公園がたくさんある。(8才小学生)
- 広島県 尾道市 大林映画で見てのとおりです。(22才女性)
- 鳥取県 出雲市 日本で一番素朴なところ。神話のまち。(16才学生)
- 香川県 高松市 橋がかかって気持ちが陸つづきになった。(19才学生)
- 長崎県 長崎市 異国情緒の味わえるまち。食べ物おいしい。(35才主婦)

あなたのまちに何を期待しますか。

- 秋田県 秋田市 高速道路の充実(32才男性)
- 山形県 寒河江市 交通の便をよくしてほしい(46才男性)
- 東京都 足立区 地域の人々がつながりを持つ何かをほしい。(26才女性)
- 静岡県 伊東市 遊園地がほしい。(7才小学生)
- 長野県 松本市 オリンピックがまちの発展に役立ってほしい。(67才男性)
- 石川県 七尾市 コンサートホールを作ってほしい。(27才男性)
- 和歌山県 熊野市 空港の設備を願う。(71才男性)
- 鳥取県 米子市 文化的な魅力あるまちづくり。(32才主婦)
- 山口県 下関市 通過のまちからの脱却。(29才男性)
- 高知県 高知市 観光地として充実した施設づくり。(46才男性)
- 宮崎県 延岡市 中途半端なまちをぬけだす何かを。(24才学生)

財団からの助成金はこんなカタチで生かされました。

1992年度

- 1 アジア青少年会議(アジア青少年会議実行委員会):福岡県 北九州市 「アジアの平和と友情づくり」をテーマに、アジア10ヶ国の青少年が友情を深め地域の活性化を図った。
- 2 市原にプロサッカーを誘致(市原にプロサッカーを誘致する会):千葉県 市原市 Jリーグの開催にあたり、市原市にプロサッカーチームを誘致し、市民の中にスポーツ文化を根付かせ、ゆとり有る地域をつくる。
- 3 両毛広域圏シンポジウム(社 桐生青年会議所):群馬県 桐生市 両毛5市においてシンポジウムを開催し、広域圏を取り巻く諸問題を取り上げ、広域圏における21世紀のアイデンティティを模索する。
- 4 飛騨地域広域シンポジウム(社 高山青年会議所):岐阜県 高山市 空港誘致・地方拠点都市整備法を切り口として、飛騨の地域づくりビジョンを考えるためにシンポジウムを開催する。
- 5 レッツクリーン・マイ吹田(吹田市民一斉清掃実行委員会):大阪府 吹田市 市民全員が町の美化を体験し、「美しい吹田・住み良い吹田」と心から言える、人と町をつくる手段として市民全員参加の一斉清掃を行なう。
- 6 倉敷経済文化講座(倉敷経済文化講座):岡山県 倉敷市 中央の情報収集や新知識を吸収し、経済、一般知識の向上をはかると共に、倉敷地域社会の発展に資するという目的で開催。
- 7 SENDAI光のページェント(SENDAI光のページェント実行委員会):宮城県 仙台市 ページェントのあかりの温もり、落ち着きが街を包み市民の心を豊かにし、活気ある街づくりと文化創造の契機となる事を願い、231本のけやきの木に約80万本の電球を灯す。

平成5年度 前期助成金交付事業決定

本年度前期の助成金交付事業が決定しました。申請数は計50件で、前年度の10件をはるかに上回りました。これは、(財)まちづくり市民財団の活動が、少しづつ人々の間に浸透しはじめたものと、たいへん喜んでます。どの事業も、とても意義のあるものばかりでしたが、財団選考委員会が厳正に検討した結果以下の13件に決定致しました。

	交付額 (円)
1 打吹童子ばやし振興協議会 (太鼓・衣装の購入) 鳥取県倉吉市	100,000
2 香西フラワーロード作戦 (香西町役場) 岡山県阿哲郡香西町	100,000
3 備後広域ネットワーク (社 福山青年会議所) 広島県	200,000
4 九州はひとつマラソンリレー (社 日本青年会議所 九州地区協議会)	500,000
5 須坂長野東インター開通記念イベント 長野県 (社 須坂青年会議所)	500,000
6 '93筑後川フェスティバルinひた、くすく 大分県 ('93筑後川フェスティバルinひた、くすく実行委員会)	250,000
7 6th日本海夕陽ラインネットワークin能代 秋田県 (社 日本青年会議所秋田ブロック協議会)	500,000
8 愛郷小南史 (小南区自治会) 滋賀県野洲郡	200,000
9 在外人と共生するまちづくりフォーラム 山梨県 (山梨外人人権ネットワーク)	200,000
10 ヤボネシア創造シンポジウム 鹿児島県 (ヤボネシア創造シンポジウム実行委員会)	300,000
11 台湾普光国民小学校児童人形劇上演会 長野県 (社 飯田青年会議所)	200,000
12 世界少年冒険村運営計画策定事業 新潟県 (財団法人 雪だるま財団)	250,000
13 '93アースディつくば 茨城県 (アースディつくば実行委員会)	200,000

**助成金申請を
お待ちしております。**

まちづくり運動に対して助成金の交付を行っている当財団は、助成金の募集を皆さんから広く募っています。「自分達の行なう事業はとて大切なこと」「意味のあること」「なんとか成功させたい」そんな気持ちをお持ちなら、ぜひ助成金の申請をしてみてください。

この助成金は単に助成金対象者をセレクトするだけのものではないのです。色々な内容を知らせていただく事により、「このまちはこんな事を望んでいるのか」「この人達はこういった夢をもっているのか」といったことを私達は知ることが出来るのです。本年度の助成金総額は600万円(前・後期)。

どんどんお申し込みください。

まちづくり市民財団は

この方たちで構成されています。

〈 評 議 員 〉

浅利 治
(株)浅利建設工業 代表取締役社長
井奥 貞雄
衆議院議員
石川 六郎
鹿島建設(株) 取締役会長
榎本 一彦
福岡地所(株) 代表取締役社長
小沢 一彦
日本水産観光(株) 代表取締役社長
河村 忠夫
(株)青森南フーズサプライ
インターナショナル代表取締役社長
小谷 隆一
イセト紙工(株) 代表取締役社長
佐藤 敬夫
衆議院議員
桜場 誠二
(株)フジクリーン専務取締役
神野 信郎
中部ガス(株) 取締役社長
関 哲夫
文部省(財)かき研究所 副所長理事
恒松 制治
独協大学 学長
夏目 潔
(株)夏目 代表取締役社長
樋口 俊一
(株)菜ヒグチ 代表取締役
桧 貢
(財)日本都市センター 主任研究員
平形 芳朗
平形興業(株) 取締役支配人
森 輝彦
丹平製菓(株) 取締役社長
森口 一
味の浜藤(株) 常務取締役
山本 洋一
横浜石油企業(株) 代表取締役社長
米原 正博
ニューオオタニ鳥取 代表取締役社長
和田 光司
(株)不動産センター 代表取締役社長

〈 理 事 〉

理事長 阿部 芳三
(株)イワサテック 代表取締役
専務理事 上田 徹
上田建設(株) 専務取締役
理事 井上 孝男
(株)住信基礎研究所 取締役社長
理事 岩國 哲人
島根県 出雲市長
理事 岡崎 昌之
(財)日本地域開発センター
企画調査本部長
理事 黒田 杏子
(株)博報堂 参事調査役/俳人
理事 塩塚 公一
福岡県大牟田市長
理事 城間 良和
沖縄県東部消防署 第2警備係
理事 田村 明
法政大学 法学部教授
理事 高市 早苗
評論家 高市早苗事務所
理事 長岡 弘行
(有)長岡工作所 専務取締役
理事 西村予史男
(株)竹茗堂茶店 取締役九代目
理事 深沢 幸弘
(株)蓮袋館 専務取締役
理事 本間俊太郎
宮城県知事
理事 水野 誠一
(株)西武百貨店 代表取締役副社長
理事 茂木 敏充
茂木敏充と明日を語る会
理事 渡辺 嘉一
フジクリーン工業(株) 取締役副社長
理事 渡邊 秀樹
渡邊酒商(株) 代表取締役
監事 安元 政
公認会計士安元政事務所
監事 吉田 俊則
弁護士 飯塚俊則法律事務所 所長

(50音順：敬称略)

財団へのお便り

(吹田市民一斉清掃実行委員会)

ベッドタウンとしてのニュータウン、オフィス街副都心としての江坂地区、そして古い歴史をもつ旧吹田地区、特色ある3つの形態が共存する町吹田、その中に住む住民の考え方も、地域によって様々であり、住民同志の連帯感も希薄さを感じる町になりつつあります。そんな状況の中、1992年度我々は、地域の1本化が肌で感じられるまちづくりのできる委員会「まちづくり委員会」を結成、これまでの流れを踏まえて、レッツクリーンマイン吹田を企画。「人と町への思いやり、マナーに対する啓発」を目的に、事業を展開してきました。

主旨は広く市民に認められても、いざ実行となると、なかなか協力を得るのに苦労をしました。吹田青年会議所全メンバーは、9月30日当初の市民協力を得るために、市民の全自治会を隈無く回り、事業説明、そして当初の協力依頼を行ないました。地区によっては、「そんなこと、常々行っている。何でいまさら...」といったメンバーに噛みついてくる所もありました。皆さん、一斉に行うことの意義をなかなか理解してもらえませんでした。

しかし、そんな時、メンバーの心の大きな支えになったのは、当事業が応募多数の中から市民財団の助成対象になったという自信でした。

また、企業の協賛を得るために、企業まわりをした時も、市民財団から助成をして頂いているということが、大きな助けになりました。

財団からの10万円という金額は、総予算130万円に比べれば、多いものとは言えないかもしれませんが、金額では計り知れないほどの効果をメンバーや市民に与えていただきました。

そして、この費用は主に、市民に当事業を当日までに知らしめるPR費として、ポスターやちらし制作費に使わせて頂きました。当日は7、144名の参加をいただき大成功に終わることが出来ました。大変ありがとうございました。

まちづくり市民財団は
皆さんの協力で
成り立っています。

皆さんは財団法人が、どうして成り立っているかご存じですか。財団法人は基本となる財源をもっており、その運用利益で色々な事業や助成を行なっているのです。したがって基本財産が多ければ、当然事業の規模も大きくなってゆきますが、逆に少なければその規模も小さくならざるを得ません。ちなみに財団法人が事業活動をスムーズに進めてゆくには、約5億円の基本財産が必要と言われています。

今年で2年目を迎えた(財)まちづくり市民財団は、(社)日本青年会議所から移転された基本財産が1億円、そしてその後の入会金・寄付金3千万円をあわせ、1億3千万円で成り立っています。

「財団の主旨には賛同できるが、一口までは...」と言われる方もあると思いますが、小額でも寄付金として受け付けています。

当財団は今、荒地に植えられた苗木です。皆さんの協力が水となり栄養となつて、大きく育ち実をつけます。そしてその実が人々の夢を叶え、いつか必ず遠くた表情であなたのもとへ帰ってくることを信じています。皆さんのご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

〒102 東京都千代田区平河町2-14-3
日本青年会議所会館内
財団法人まちづくり市民財団事務局
TEL 03(3234)2607
FAX 03(3265)2409